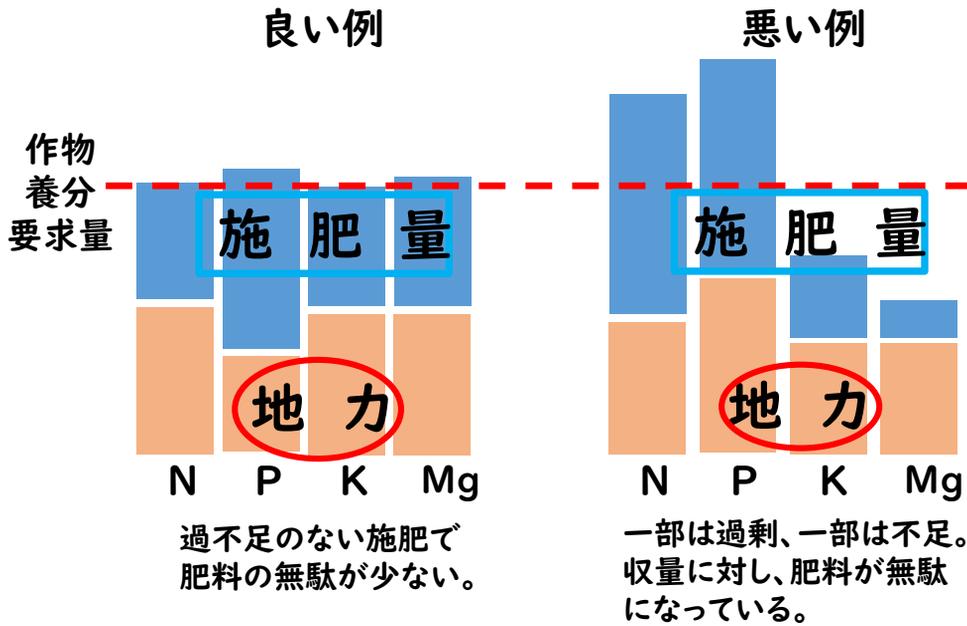


畑作 肥料コスト低減に向けた施肥のイメージ



上図の「**地力**」の判断基準となるのが、「**土壌診断**」です。土壌診断で、無駄のない施肥設計を行いましょう。(施肥設計の相談は、普及センター、農協まで)

畑作 堆肥を活用した試験事例について

<参考> 令和4年A町での直播てんさい試験事例

堆肥を施用し地力が高いほ場で、表のように試験を実施。

表 試験設計

施肥量	施用量 (kg/10a)			
	窒素	りん酸	カリ	苦土
慣行区	12.1	10.8	4.8	1.8
試験区	8.4	10.8	4.8	1.8

牛糞堆肥 5t/10a (前年秋施用)

結果は、根重が劣り、糖分が高く、産糖量は慣行と同等となりました(図 参照)。

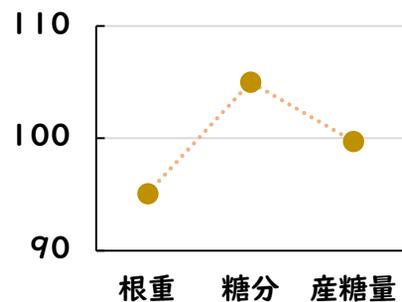


図 試験区成績 (慣行を100とする)

堆肥を散布するほ場は、減肥の可能性ががあります。自身の土壌診断値を見直し、コスト低減に努めましょう。

畑作 堆肥・後作緑肥の活用による減肥可能性

肥料コスト低減で注目されるのが、堆肥や緑肥の活用です。表を参考に、堆肥の施用や緑肥のすき込みは、その施用量に応じて、減肥を検討しましょう（北海道施肥ガイド 2020より）。

表 堆肥の種類と含有成分、減肥可能性

堆肥の種類	初年度の分解速度	含有成分 (kg/現物t)			最大 使用量 (t/10a)	窒素 減肥可能性※ (kg/現物t)
		窒素 (N)	リン酸 (P ₂ O ₅)	カリ (K ₂ O)		
牛ふん	遅い	6	4	5	5.0	1
豚ふん	中速	11	15	7	3.0	3.7
鶏ふん	速やか	43	36	24	0.5	13

出典 北海道における有機質資材の利用ガイド

表 後作緑肥の減肥可能性

後作緑肥作物	標準的生重 (t/10a)	標準的乾物重 (kg/10a)	減肥可能性 (kg/10a)	
			窒素	カリ
えん麦	2.5~4.0	400~600	0~4	10~20
ヘアリーベッチ	1.5~2.5	150~250	3~5	6~10
シロカラシ	3.0~4.5	350~550	4~6	10~20
ひまわり	1.5~3.5	200~500	2~4	6~14

「篤農家の事例」



秋まき小麦の後作でえん麦をすき込み、堆肥も併用して、定期的な有機物の補給。

～えん麦野生種の栽培～

- ・は種：8/上～中旬
「サイアー」15kg/10a
- ・施肥：窒素5kg/10a
- ・すき込み：10/中～下旬